

## ポータブルデータコレクタ - RTR-500DC

- ▶ RTR-500DC から無線通信による記録間隔の設定、データの収集・保存ができます。
- ▶ 周期的にデータロガーと無線通信して現在値を取得するモニタリング機能付きです。
- ▶ 警報値を超えるとブザーでお知らせします。
- ▶ 記録データをその場でグラフ確認できます。

1 台に登録できる数  
子機：1 グループにつき 32 台まで  
(RTR-505 / 574 / 576 は 1 グループにつき 16 台まで)  
中継機：1 グループにつき 15 台  
グループ数：7 グループ

32,000 円 + 税



### 使用事例

- 生産ラインで移動中の製品温度のモニタリングと記録データの収集
- トラックの運転席からコンテナ内の荷物のモニタリングと記録データの収集
- 建設現場などパソコンのない環境で記録データの収集

現場でモニタリング



事務所でデータ確認



親機 / 中継機		
機種名	RTR-500DC	RTR-500C
対応機種 (*1)	子機: RTR-501 / 502 / 503 / 507 / 574 / 576 / 505-TC / 505-Pt / 505-V / 505-mA / 505-P Lタイプ, Hタイプ含む 中継機: RTR-500C	子機: RTR-501 / 502 / 503 / 507 / 574 / 576 / 505-TC / 505-Pt / 505-V / 505-mA / 505-P Lタイプ, Hタイプ含む 中継機: RTR-500C
最大登録台数	子機: 32台 x 7グループ (RTR-505 / 574 / 576 は 16台 x 7グループ) 中継機: 15台 x 7グループ	子機: 32台 x 20グループ 中継機: 30台 x 20グループ
データ容量	フルデータの場合: - RTR-574 x 7台分 - RTR-576 x 10台分 - その他の子機 x 15台分 フルデータでない場合: 最大 250台分	-
通信インターフェース	< 親機 - (中継機) - 子機間 > - 無線通信 (特定小電力無線) RTR-500DC モード: ARIB STD-T67 (周波数: 429 MHz 帯, RF パワー: 10 mW) RTR-57 モード (*2): ARIB STD-T67 (周波数: 426 MHz 帯, RF パワー: 1 mW) - 光通信 (独自プロトコル) RTR-574 / 576 を除く子機 - シリアル通信 (RS-232C) RTR-574 / 576 (*3)  < 親機 - PC 間 > - USB 通信 - シリアル通信 (RS-232C) (*4)	< 親機 - (中継機) - 子機間 > - 無線通信 (特定小電力無線) RTR-500C モード: ARIB STD-T67 (周波数: 429MHz 帯, RF パワー: 10mW) RTR-50 モード (*2): ARIB STD-T67 (周波数: 426MHz 帯, RF パワー: 1mW) - 光通信 (独自プロトコル) RTR-574 / 576 を除く子機  < 親機 - PC 間 > - USB 通信 - シリアル通信 (RS-232C) (*3)
無線通信距離	約 150 m (見通しの良い直線において)	約 150 m (見通しの良い直線において)
外部警報入出力端子	-	-
通信プロトコル	-	SMTP (POP before SMTP, SMTP-AUTH (LOGIN / PLAIN / CRAM-MD5) ), FTP (*5)
電源	単 4 アルカリ電池 x 2 単 4 ニッケル水素電池, 専用 AC アダプタ (オプション: AD-0638), USB バスパワーも使用可能	USB バスパワー, 単 3 アルカリ電池 x 2, AC アダプタ (AD-0638) (*6)
電池寿命 (*7)	単 4 アルカリ電池 2 本使用時に動作ができる目安 モニタリング: 連続 60 時間 (60 秒周期 / 中継機なし) 周波数チャンネル使用状況確認: 連続 36 時間 無線通信によるデータ吸い上げ: 連続 200 回 (RTR-501 のフルデータ / 中継機なし / バックライトオフ)	中継機の場合: 約 6 ヶ月 (1 日 1 回フルデータ吸い上げ / 中継機 1 台の場合)
本体寸法	H 125 mm x W 58 mm x D 26.3 mm (アンテナ含まず) アンテナ長: 57 mm	H 96 mm x W 65 mm x D 25 mm (アンテナ含まず) アンテナ長: 55 mm
質量	約 127 g (電池含む)	約 71 g (電池含まず)
本体動作環境	温度: 0 ~ 50 °C 湿度: 90 %RH 以下 (結露しないこと)	温度: -10 ~ 60 °C (外部電源使用時 -30 ~ 60 °C) 湿度: 90 %RH 以下 (結露しないこと)
付属品	単 4 アルカリ電池 (LR03) x 2, USB Mini-B 通信ケーブル (US-15C), ソフトウェア (CD-ROM), 取扱説明書 (保証書付) 一式	USB Mini-B 通信ケーブル (US-15C), ソフトウェア (CD-ROM), 名前シール, 取扱説明書 (保証書付) 一式
ソフトウェア 対応 OS (*8)	Microsoft Windows 8 32 / 64 bit 日本語 (*9) Microsoft Windows 7 32 / 64 bit 日本語 Microsoft Windows Vista 32 bit (SP1 以降) 日本語	Microsoft Windows 8 32 / 64 bit 日本語 (*9) Microsoft Windows 7 32 / 64 bit 日本語 Microsoft Windows Vista 32 bit (SP1 以降) 日本語

\*1: RTR-5 シリーズと混在して使用する場合の互換性および仕様については、弊社 Web サイト (HOME > サポート > その他) を確認してください。

\*2: RTR-50 / 57 モードは従来機種の RTR-50 / 57U として動作し、RTR-5 シリーズデータロガーと無線通信を行うモードです。

\*3: RTR-574 / 576 とのシリアル通信にはオプションのシリアル通信ケーブル (TR-6C10) が必要です。

\*4: 別途公開の通信プロトコルを使用し、お客様ご自身でソフトウェアを作成していただければ PC 間とのシリアル通信が可能となります。その場合オプションのシリアル通信ケーブル (TR-07C) が必要です。

\*5: 付属ソフトウェアによって実現される機能です。

\*6: USB 接続での使用時は電池や AC アダプタは不要です。中継機として使用する場合は単 3 アルカリ電池または AC アダプタを別途用意してください。

\*7: 電池寿命は周辺温度、通信回数、電池性能などにより異なります。本説明は新しい電池を使用したときの標準的な動作であり、電池寿命を保証するものではありません。

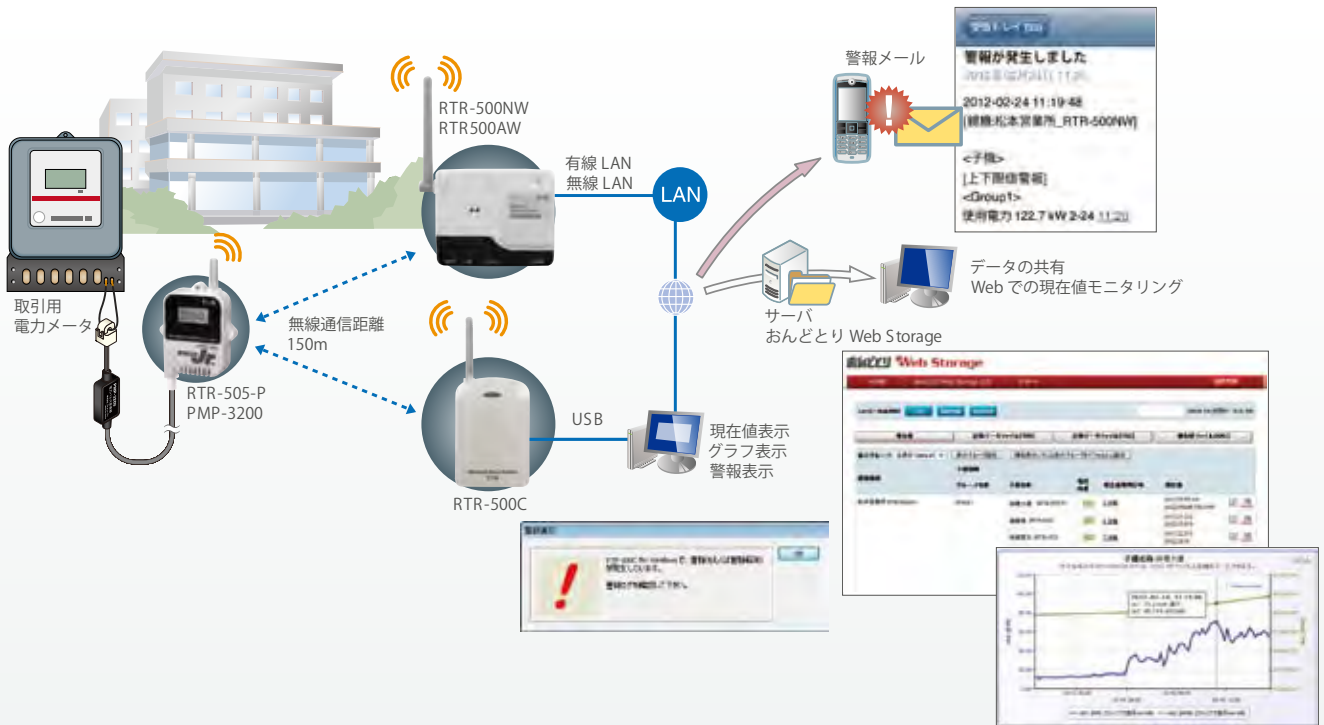
\*8: インストール時、Administrator (パソコンの管理者) の権限が必要になります。

\*9: Windows 8 をご利用の場合、弊社ソフトウェアは [ デスクトップ ] 画面での動作のみサポート対象となります。

上記仕様は予告なく変更することがあります。

## デマンド監視で節電・省エネ

パルス数データロガー RTR-505-P とパルス検出モジュール PMP-3200 を使えば、デマンド監視が簡単にできます。無線通信・ネットワーク通信機能により、遠隔からリアルタイムで使用電力を確認でき、消費電力の警報監視システムを低コストで実現できます。「電力の見える化」により、節電・省エネ対策に大きな効果を発揮します。



### システム構成

子機: RTR-505-P (L) とパルス検出モジュール PMP-3200

親機: RTR-500C、RTR-500NW / 500AW

対応電力量計: 取引用電子式電力量計 高压受電 (6.6 kV)、50,000 pulse/kWh、CT 方式タイプ

\* PMP-3200 は取引用電力量計の電流パルス出力を CT で受け、電圧パルスに変換する電力計測用のモジュールです。

\* 取引用電力量計への取り付けはご契約中の電力会社様へご依頼ください。

### パルス検出モジュール (PMP-3200) 仕様

入力	センサ	分割クランプ式電流センサ 窓径φ6
	パルス検出電流	10 ~ 40 mA OFF 電流 0.5 mA 以下 両極対応
	パルス幅	10 msec ~ 30 msec
	最小パルス間隔	パルス幅 x 2 or 30ms 以上で大きい方
出力	信号出力	負論理パルス Hi: 電源電圧 x 0.7 以上 Lo: 1 V 以下
	パルス幅	3 msec ~ 9 ms
電源	3.6 V (RTR-505-P の電池より供給)	
動作環境	温度 -10 ~ 50°C 湿度 10 ~ 90 %RH (結露しないこと)	
付属品	電力量計接続用被覆電線、ケーブル固定用クランプ、ネジ	



### 電力の見える化で節電対策

RTR-500 シリーズならインターネット経由で Web ブラウザや携帯電話から現在の電力使用量や推移を見るシステムを実現できます。全国の支社・店舗ごとに電力の見える化が可能です。

### 電源・配線工事不要

電池駆動と無線通信化により電源と配線工事の必要がありません。モジュール部はデータロガー本体 (電池駆動) から電源供給されます。

### 警報を見逃さない

万一目標デマンドを超えた場合は、パソコンに警報画面を表示させる、警報メールを送信させる、赤色灯と連動させるなど、RTR-500 シリーズなら警報を見逃す心配がありません。

### システム導入が低コストで実現

既存のネットワークを利用すれば、追加の運用コストもかかりません。機器の購入費用だけでデマンド監視を始めることができます。

### 電力 / 温度 / 照度を同時に記録・監視

RTR-500 シリーズの RTR-502 / 503 / 574 / 576 を使って、室内の温度、湿度、CO<sub>2</sub> 濃度、照明の照度管理を同時に行うことで、より効果的な節電が可能です。